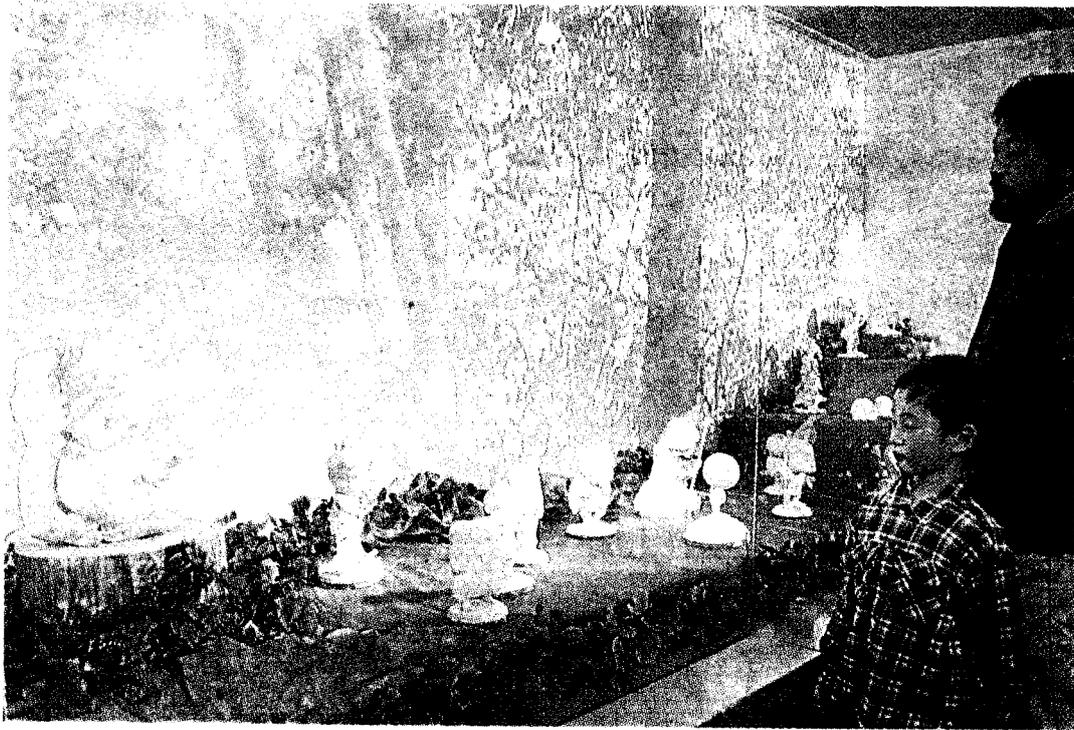


# 日南に妖怪25体お目見え



妖怪像とともに日南町の森林映像を楽しむ親子

水木ロードと同型の石こう像 森への関心広げる

森と妖怪を結び付けてまちづくりを生かそうと、日南町霞の町美術館で5日、境港市の水木し

の同型。森の小道に現れるという「ぬりかべ」や深山にすむ「やまわろ」の妖怪像が並ぶ。背景には日南町の森や山々の写真を投影し、自然に囲まれた日南町の豊かさを紹介している。

げるロードのブロンズ像と同型の石こう像展示が始まった。森林や水にまつわる25体の妖怪が森で過ごす様子を演出し、来館者を楽しませている。入館無料。3月13日まで。森林を活用した地域振興活動をする、同町のNPO法人フォレストアカデミージャパンが企画した。一大ブームとなっている妖怪への興味を入口に、人間や妖怪にきれいな水、空気、癒やしをもたらしている森林にも関心を広げてもらう。石こう像はブロンズ像と同じ鋳型で作られ、全

美術館を訪れた日南小学校4年の福田佑乃さん(10)は「家の近くで妖怪が見られてうれし」と大喜び。同法人の中村秀人事務局長は「妖怪をきっかけに人と人と森との交流活動を進めていきたい」と意気込んだ。

美術館を訪れた日南小学校4年の福田佑乃さん(10)は「家の近くで妖怪が見られてうれし」と大喜び。同法人の中村秀人事務局長は「妖怪をきっかけに人と人と森との交流活動を進めていきたい」と意気込んだ。